

パラスポーツ先端研究教育連携プロジェクト オンライン連続セミナー

「パラスポーツの可能性を探る」

東京 2020 パラリンピックの開催で大きく認知度が高まったパラスポーツ（障がい者のスポーツ）は、障がいを持つ選手たちのありのままの力を活かした最大限のパフォーマンスを通して、多様な文化への理解を深め、共生社会を拓いていく力を有している。一方、パラスポーツを様々な観点から紐解いていくと、障がいを持つ人々を取り巻く社会課題も見えてくる。本セミナーは、東京大学スポーツ先端科学連携研究機構（UTSSI）、日本障がい者スポーツ協会、日本スポーツ振興センターの3者からなるパラスポーツ先端研究教育連携プロジェクトとして、幅広い分野の専門家による講義を通じて、スポーツの文脈から障がいというものを把握し、共生社会実現に向けたパラスポーツの可能性を考える視点とツールを提供することを目的とする。

- 形式：オンライン（Zoom）での開催
- 時間：各日 19:00～20:15（質疑応答含む）
- 主催：東京大学スポーツ先端科学連携研究機構
- 協力：日本障がい者スポーツ協会、日本スポーツ振興センター
- 参加申込：下記のリンクのフォームよりお申し込みください。（参加費無料）



参加申込フォーム

<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/join/60313122957>

- 情報保障：情報保障として文字通訳を行います。詳細は後日ご案内します。
- 連絡先：UTSSI パラスポーツシンポジウム担当 utssi.parasports@gmail.com

●各回のテーマと講師

回数	日程	テーマと講師
第1回	2021年8月12日	「パラリンピックはハイパフォーマンススポーツか？」 平松竜司(東大)、河合純一(JPSA)、久木留毅(JSC)
第2回	2021年9月28日	「パラスポーツと身体」 中澤公孝(東大)
第3回	2021年10月12日	「パラスポーツと自己への気づき」 熊谷晋一郎(東大・先端研)
第4回	2021年11月2日	「パラスポーツとのふれあい」 藤原清香(東大)、衣笠泰介(JSC)
第5回	2021年11月中旬	「パラスポーツとクラス分け」
第6回	2021年11月下旬	「パラスポーツと共生社会」
第7回	2021年12月中旬	「パラスポーツへの関心」
第8回	2022年1月	「パラスポーツと未来」

(第5回以降の日程、講師については、後日案内いたします。)

●第1回テーマ「パラリンピックはハイパフォーマンススポーツか？」

まもなく東京2020パラリンピック競技大会が開幕する。今回はパラリンピックの歴史や背景、そして今大会の日本代表選手団の編成や強化への取り組みについて3名の講師がそれぞれの立場から話すとともに、ハイパフォーマンススポーツとは何か、またハイパフォーマンスから見えるパラスポーツの可能性について議論をする。

●第1回講師紹介

○河合 純一（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会 委員長）

生まれつき左目の視力はなく、15歳で右目も失明し、全盲となる。パラリンピックには1992年バルセロナ大会から2012年ロンドン大会まで6大会に出場し、金メダル5つを含む全21個のメダルを獲得。2016年には日本人初となる国際パラリンピック委員会(IPC)の殿堂入りも果たす。早稲田大学大学院教育学研究科修了。2020年1月より現職。(独)日本スポーツ振興センターHPSCアドバイザー、スポーツ庁スポーツ審議会委員。東京2020パラリンピック競技大会では日本代表選手団団長を務める。

○久木留 毅（独立行政法人日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンススポーツセンター 国立スポーツ科学センター センター長）

クロスアポイント制度にて、専修大学より日本スポーツ振興センターに出向中。ハイパフォーマンススポーツにおける実践および研究に従事し、英国ラフバラ大学客員研究員、スポーツ庁参与、日本パラリンピック委員会(JPC)運営委員、ASPC(国際スポーツ強化拠点連合)アジア大陸理事、UWW(世界レスリング連合)テクニカル委員会委員・科学委員会委員、日本オリンピック委員会(JOC)情報戦略部門 部門長、日本レスリング協会ナショナルコーチ兼テクニカルディレクターなどを歴任。

○平松 竜司（東京大学大学院農学生命科学研究科・東京大学スポーツ先端科学連携研究機構 助教）

東京大学自転車部に所属時にパラサイクリング(障がい者の自転車競技)の日本代表チームスタッフとなり、パラスポーツに出会う。2008年北京パラリンピック日本選手団本部役員、東大総長賞受賞。その後、パラリンピック選手発掘事業なども手掛け、現在は日本パラ陸上競技連盟理事・強化副委員長として、パラ陸上競技の強化を担当している。(独)日本スポーツ振興センターHPSCアドバイザー、日本スポーツ協会競技者育成部会委員、日本自転車競技連盟理事なども務める。